



地域医療と暮らしのゆくえ
超高齢社会をとともに生きる
高山義浩

多岐時代のプライマリ・ヘルスケア
その答えは暮らしのなかに
本書は、超高齢社会の到来に伴って、医療現場で起こる個別の問題から、地域から日本という国全体を覆う医療・福祉の課題までを、現実に即した形で報告し、その「ゆくえ」に対して、その広い知見からの「施策」を提言する。2025年問題は、決して将来の課題ではなく、いまここですでに始まっている。すべての人が、自らどう生きるか、どう死ぬかを真剣に考える、その足掛かりに！

地域医療と暮らしのゆくえ 超高齢社会をとともに生きる

著：高山義浩／医学書院

定価：1800 円＋税／TEL：03-3817-5657

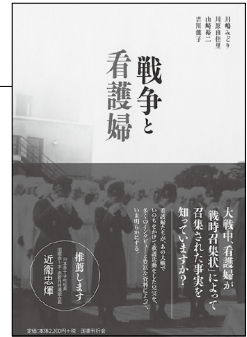
●「答えがないような課題について一中略一、それぞれの立場から語り合うことが大切」（「おわりに」より）。医療現場で起こる個別の問題から、地域から日本という国全体を覆う医療・福祉の課題までを、現実に即した形で報告し、その「ゆくえ」に対して、その広い知見からの「施策」を提言する。2025年問題は、決して将来の課題ではなく、いまここですでに始まっている。すべての人が、自らどう生きるか、どう死ぬかを真剣に考える、その足掛かりに！

戦争と看護婦

著：川嶋みどり・川原由佳里・山崎裕二・吉川龍子／国書刊行会

定価：2200 円＋税／TEL：03-5970-7421

●「先の戦争で失われてしまった赤十字という人道のルールとしての実効性と信頼を取り戻すこと、それは現代の私たちにとって課題であり続けているのです」（本文より）。その使命のもとに、赤十字看護班の活動の史料をと多くの聞き書きから、日本の看護婦は戦争とどうかわっていったのか、その真の姿に迫る研究成果がここに結実した。自らを犠牲にして傷病者を守る姿は、美しいものとして語られても、他から犠牲を強いられる彼女たちの苦痛への視点は忘れ去られた。平和と看護を深く考えるための1冊。



いのちの生成とケアリング ケアのケアを考える

著：丹木博一／ナカニシヤ出版

定価：3800 円＋税／TEL：075-723-0111

●人間が人間として成長していくために必要な、他者（＝養育者）から受けるべき適切なケアの姿に、「生命活動」のうえから、そして「病いと健康の意味」を求めることから迫る第一部。第二部は「ケアリング——セルフケアのケア」と題し、セルフケア、ケアする人のケアといった重奏するケアのあり方を具体的に深く考察し、「生活者としての患者に寄り添うことができるかどうか、それが肝心のことなのです」（本文より）と、看護ケアの真髄に迫る。包括的な視点と魅力的なエピソード満載！

健康格差対策の進め方 効果をもたらす5つの視点

著：近藤尚己／医学書院

定価：2500 円＋税／TEL：03-3817-5657

●「私たちは、健康格差対策をしっかりと進めるべき時代を迎えている」のコンセプトのもと、健康格差の現状を把握し、対策に取り組むための5つの視点を具体的に解説し、評価の指標となる地域診断のツールを紹介する。対策の優先順位、連携先が整理され、取り組みの姿が見えてくる『『わかる』『使える』健康格差ガイドブック』（引用はいずれも「はじめに」より）。ヘルスプロモーションを効果的に進めるための知恵と工夫がここに！

